

## 会社の概要 (平成29年9月30日現在)

商号 日本山村硝子株式会社(Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)  
 本社所在地 関西本社 兵庫県尼崎市西向島町15-1 電話 06-4300-6000(代表)  
 東京本社 東京都新宿区西新宿6-14-1 電話 03-3349-7200(代表)  
 新宿グリーンタワービル20階  
 創業 大正3年4月5日  
 設立 昭和16年12月11日  
 資本金 140億7,496万5,448円  
 従業員数 838名  
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)  
 会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

## 大株主の状況

株主名	所有株式数	所有株式比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	10,317千株	9.25%
日本山村硝子取引先持株会	4,404	3.95
株式会社三井住友銀行	4,252	3.81
旭硝子株式会社	3,836	3.44
クリアストリーム パンキング エス エー	3,250	2.91
山村幸治	3,049	2.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,962	2.65
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,944	2.64
日本生命保険相互会社	2,842	2.55
クレディスイスルクセンブルグ エヌエー カスタマーアセツツ アフアンズ ユーシツツ	2,700	2.42

(注)1. 当社は、平成29年9月30日現在、自己株式6,501千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数には、信託業務に係る持株数が含まれております。  
 3. 所有株式数は表示単位で切り捨て表示しております。

## 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 300,000千株  
 発行済株式の総数 111,452千株  
 株主数 8,708名  
 単元株式数 1,000株

## 所有者別株式分布状況

	株主数	所有株式数
個人・その他	8,313名	38,058千株
金融機関	32	28,135
事業会社・その他法人	260	21,202
外国法人・外国人	102	17,553
自己株式	1	6,501
合計	8,708名	111,452千株



## 役員 (平成29年9月30日現在)

取締役 (監査等委員である取締役を除く。)  
 代表取締役社長 執行役員 山村 幸治  
 常務取締役 執行役員 上高 雄樹  
サンミゲル山打バクケーシング社駐在(同社取締役副社長)  
 取締役 執行役員 小林 史吉  
環境省 コーポレート本部 研究開発センターおよびニューガラスカンパニー常務 プラスチックカンパニー社長  
 取締役 執行役員 明神 裕  
ガラスびんカンパニー社長

監査等委員である取締役  
 取締役 常勤監査等委員 谷上 嘉規  
 取締役 監査等委員(社外) 井上 善雄  
株式会社巴川製紙所代表取締役社長(独立役員)  
 取締役 監査等委員(社外) 高坂 佳郁子  
弁護士(独立役員)  
 取締役 監査等委員(社外) 泉 豊祿  
ハウステック株式会社代表取締役社長(独立役員)

執行役員  
 執行役員 鳥居 豊彦  
監査等委員会室長  
 執行役員 神田 信一  
ガラスびんカンパニー営業本部長  
 執行役員 植田 光夫  
山村硝子株式会社代表取締役社長

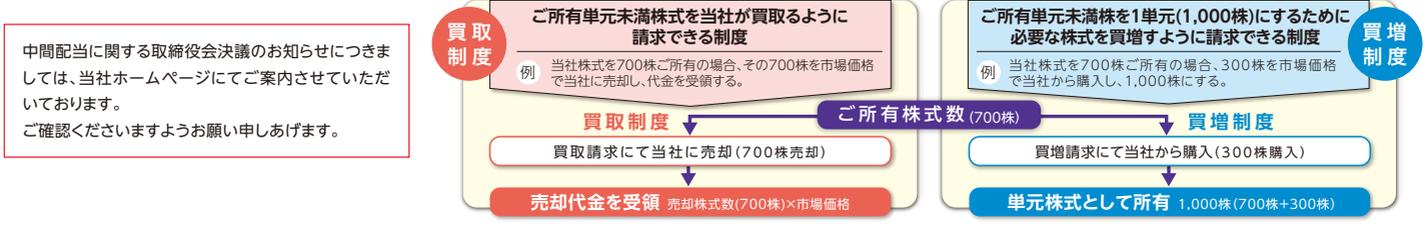


株主のみなさまへ 決算ご報告  
 平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日

第89期  
 第2四半期

日本山村硝子株式会社  
<http://www.yamamura.co.jp/>

## 買取・買増制度をご利用ください



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領日	3月31日
中間配当金受領日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://yamamura.co.jp/">http://yamamura.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)  
 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で行うこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
 2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。  
 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。  
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて	
<p>○特別口座に登録された株式</p> <p>お手続き、ご照会等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○単元未満株式の買取(買増)請求</li> <li>○住所・氏名等のご変更</li> <li>○特別口座の残高照会</li> <li>○配当金の受領方法の指定(※)</li> </ul> <p>株主名簿管理人</p> <p>【手続き書類のご請求方法】                  ○インターネットによるダウンロード  <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a></p>	<p>お問合せ先</p> <p>三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)</p>
<p>○証券会社等の口座に登録された株式</p> <p>お手続き、ご照会等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul> <p>株主名簿管理人</p> <p>三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)</p>	<p>お問合せ先</p> <p>三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)</p>
○上記以外のお手続き、ご照会等 口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

(※)特別口座に登録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

## 株主のみなさまへ

### 第2四半期決算ご報告および中間配当金関係書類送付ご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
 さて、当社およびグループ各社(以下、当社グループと称します。)の第89期第2四半期累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の事業の概況をここにご報告申し上げます。  
 また、「第89期中間配当金のお支払い」に関する書類も同封させていただきます。  
 ご査収くださいますようお願い申し上げます。

敬 具  
 平成29年12月



代表取締役社長執行役員 山村幸治

中間配当金のお支払いについて  
 中間配当金の払渡期間は平成29年12月4日(月)から平成30年1月4日(木)まででございます。同封の「中間配当金領収書」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店ならびに郵便局で、お忘れなくお受け取りくださいますようお願い申し上げます。  
 なお、口座振込ご指定の方には、「中間配当金計算書」および「配当金振込先のご確認書」を同封しておりますので、ご指定口座への入金をご確認ください。



この決算ご報告はFSC®認証紙とベジタブルインキを使用して印刷しております。

**売上高**  
**35,824**百万円

ニューガラス関連事業では山村フォトニクス株式会社の光通信用キャップ部品の出荷が減少しましたが、ガラスびん関連事業では秦皇島方圓包装玻璃有限公司のガラスびん販売やエンジニアリングカンパニーの海外向け売上が増加したこと、物流関連事業では新規事業を立ち上げたこと等により、売上高は35,824百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

**営業利益**  
**1,275**百万円

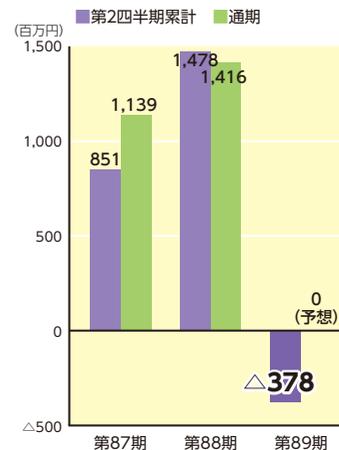
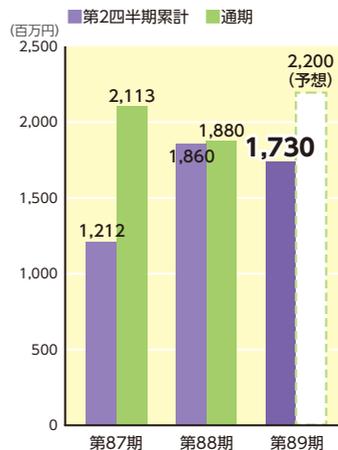
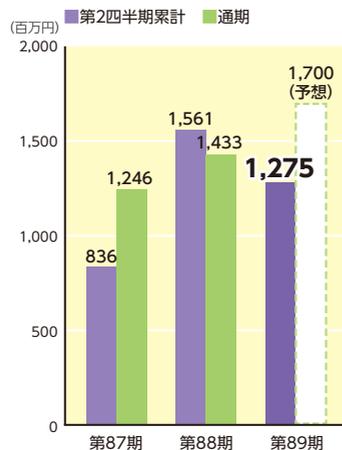
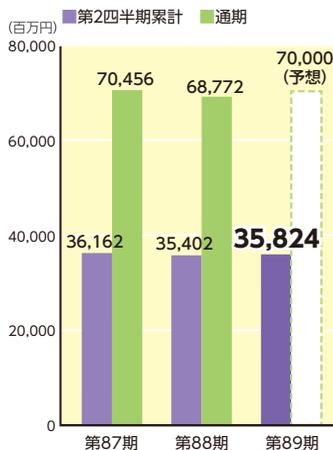
ガラスびん関連事業では修繕費等の費用減はありましたが、国内燃料価格が上昇したことや品種構成による利益率の低下、物流関連事業では人材確保のための労務費の増加、ニューガラスセグメントでは出荷減による減益要因等により、営業利益は1,275百万円(前年同期比18.3%減)となりました。

**経常利益**  
**1,730**百万円

持分法による投資利益は642百万円(前年同期比3.8%増)と増益となりましたが、経常利益は1,730百万円(前年同期比7.0%減)となりました。

**親会社株主に帰属する  
四半期純利益**  
**△378**百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失にのれん償却額や支払補償金を計上したことにより△378百万円(前年同期は1,478百万円)と損失となりました。



## 利益分配に関する基本方針および当期の配当

当社は、利益の分配につきましては、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主のみならずさまへの利益還元を努めていきたいと考えております。

これらの方針と業績を総合的に勘案し、当期(平成30年3月期)の剰余金の配当につきましては、中間配当金を1株につき2.5円とし、期末配当金2.5円と合わせ、通期で5.0円とさせていただきます。

## 1株当たり配当額の推移



# TOPICS

## 山村倉庫株式会社創立50周年

8月24日、当社の100%子会社である山村倉庫株式会社が創立50周年を迎えました。

山村倉庫株式会社は1967年に創業し、社内外の物流業務をトータルに遂行してきました。昨年には外販を行う山村ロジスティクス株式会社との分社化を行い、山村グループ内の物流業務をサポートする新生山村倉庫株式会社としてスタートしました。今後も「山倉ブランド」の確立を目指してまいります。



## 「エコキッズメッセ2017」に出展、「モリンピック2017」に賞品提供

11月4日、尼崎の森中央緑地(兵庫県尼崎市)にて「エコキッズメッセ2017」と「モリンピック2017」が同時開催されました。前者は参加企業が子ども達に環境教育を行うイベントで、後者は尼崎の森中央緑地の認知度向上を図るイベントです。いずれも兵庫県の主催で、当社はCSR活動の一環としてこれらに参画しています。

「エコキッズメッセ2017」では、ガラスびんと植物を組み合わせたテラリウム作り体験コーナーを実施。整理券をもらうために列が出来るなど盛況となりました。



また「モリンピック2017」では、「ドッグ」と呼ばれる四つん這いで競争する種目の競技会が「日本山村硝子杯」と名付けられ、当社が賞品を提供。大いに白熱しました。

